

「そんな選択肢があるとは知らなかった」 “ダビンチSP”とは何か 低侵襲ロボット支援手術の新潮流をあなたの目で

ダビンチSP体験付き 報道関係者様向け個別説明会実施

現在、ロボット支援手術は全国で広がりを見せているものの、その大半は「ダビンチXi」など従来型の多孔式（複数の切開）の手術です。それに対して「**ダビンチSP**」は、**単一の小さな切開で手術が可能な最新機種でありながら、一般の認知度は極めて低いのが現状です**。ロボット支援手術については知っていても、患者さんからは「違いが分からない」「そんな選択肢があるとは知らなかった」という声も少なくありません。従来の機器で十分先進的な治療——という認識の方が殆どと言えます。済生会横浜市東部病院（以下、当院）では、2024年10月にダビンチSPを神奈川県内で初めて導入し、これまでに手術症例数2,800例に到達いたしました。そこで本リリースでは、ダビンチSPの医療的意義と社会的インパクト、普及に向けた課題と展望を広く知っていただきたく、取材やご紹介のご検討をお願い申し上げます。

医療現場で起きている事

- ・ **ダビンチSPの存在を知らずに「従来のロボット手術」で十分と判断し、より身体にやさしい選択肢を逃すケース。**
- ・ 整容面や回復期間の違いが説明されず、若年層や働く世代にとって**本来有益な術式が届いていない。**
- ・ クリニック等からの紹介がXiベースで固定化され、**新しい選択肢が紹介側の医師にも認知されていない。**

医師が解説その1 ダビンチSPとは

ダビンチSPとは、米国Intuitive Surgical社が開発した手術支援ロボット「ダビンチ」シリーズの最新モデルで、SPは「Single Port」の略です。手術機器を動かすロボット本体、術者がロボットを操作するためのコンソール、術野を映像化するビデオシステムから構成されています（右図参照）。従来の「ロボット」は複数の切開部位からロボットアームを挿入していましたが、ダビンチSPは1本のアームに内蔵されたカメラと鉗子がアクセスポートを経て最小1か所の切開部位から体腔内に入り手術をします。



ダビンチSP

ダビンチSPの特徴

- ・ **ひとつの小さな切開からすべての手術器具が挿入される「単孔式」ロボット手術**
- ・ ロボットアーム3本+高性能カメラを**1本のアームに内蔵**
- ・ 主に**泌尿器科、呼吸器外科、婦人科、消化器外科領域**などで導入が進んでいる

メリット

- ・ 創口が小さいことで術後の痛みや回復期間が短縮
- ・ 美容面でも配慮され、患者満足度が高い
- ・ 医師側も自由度の高い操作が可能で繊細な手技に向く

デメリット

- ・ 対応できる症例や臓器にまだ制限がある
- ・ 操作技術の習熟が必要で、導入施設が限られている
- ・ 全国的にまだ普及が進んでいない（認知度が低い）



済生会横浜市東部病院 ロボット手術センター長

石田 勝医師 ※ロボット手術に関するコメント・取材調整可能

ロボット支援手術や尿路性器がんの診断と治療を専門とし、泌尿器科部長と前立腺治療センター長も務める。ダビンチSPの優位性について認知不足＝医療格差の一因という視点でロボット手術の啓発活動にも積極的に取り組む。

医師が解説その2 ダビンチSPと従来機（ダビンチXi）の比較

ダビンチSP	比較項目	ダビンチXI
1か所（単孔）※	切開の数	通常4～5か所（多孔）
より小さく目立たない	手術あと	小さいが複数個所に残る
限定有（泌尿器等）	対応部位	広範囲にわたる
より精緻だが習得難度高め	操作性	実績が多く汎用性が高い

※助手用として追加で1か所程度の切開が必要な場合もあります

ロボット支援手術の分野で広く普及しているダビンチXiやダビンチ5が多関節アームを複数の小さな切開から挿入するのに対し、ダビンチSPは**わずか1か所**の切開部からすべての手術器具とカメラを挿入できます。当院では症例に応じて、「低侵襲・狭い部位はSP」「広範囲・複雑な操作はXi」と使い分けています。

ダビンチSPだからなせる！ 患者さんのメリットまとめ



1 創口が小さい

1か所の小さな切開からカメラと3本の多関節アームを同時に挿入。患者さんの負担を最小限に抑えられます。



2 術後の回復が早い

切開が少ないため術後の痛みや合併症のリスクが軽減され、早期の社会復帰が期待できます。



3 美容面の配慮が高い

従来の複数孔手術に比べて傷跡が目立ちにくく、見た目にもやさしい低侵襲手術を実現。



4 医師側の操作性と繊細さが向上

骨盤深部など従来は術者の操作が難しかった部位でも、SP特有のしなやかなアームで自在な操作が可能。

個別説明・体験会のご案内

内 容：ダビンチSP実機の見学、操作体験。手術方式の紹介、質疑応答。
 対 象：メディア関係者の皆様
 実施方法：個別に日時を調整し随時対応。
 申込方法：当院広報推進室までメールまたはお電話でご連絡ください。

ダビンチ体験会のような
 実際の手術室で医師が説明します▶



<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当：波多野・荒木・吉村

電話：045-576-3000

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6-1

Email：koho@tobu.saiseikai.or.jp

人とロボットによる高度医療を提供する ダビンチSP100例超の実績を誇る 東部病院「ロボット手術センター」の実力

ロボット手術産業が拡大することで 医療現場にも多くの手術支援ロボットが普及

- 2019年に手術支援ロボットの世界市場を席捲する米インテュイティブ・サージカル社「ダビンチ」の特許切れを契機に、国内外では多くの企業が手術支援ロボットの導入を進めています。
- 国内においては、産業用ロボットを手掛ける川崎重工業と医療機器メーカーのシスメックスが共同出資し設立した「メディカロイド社」が2020年8月に厚生労働省から製造販売承認を取得し、国産初となる手術支援ロボット『hinotori』を発売。
- 東京工業大学発のスタートアップである『リバーフィールド社』は、ロボットアームの駆動システムに空気圧を使用し、手で触れている感覚を伝える手術支援ロボット『エマロ』を開発。手術支援ロボット産業の市場が拡大しています。
- それに伴い、いままでは限られた病院でしか受けることのできなかったロボット手術も、より多くの医療現場に広まり、患者さんにとって質の高い医療サービスを提供することができるようになりました。



ダビンチ手術実績 2,882件

東部病院のロボット手術センターは、ダビンチSPとダビンチXiを導入し、泌尿器科、外科、呼吸器外科、産婦人科など多岐にわたる領域で手術を実施。2025年8月現在で2,882件の手術実績があります。また公式キャラクター「ロボてくん」を通じて、ロボット支援手術を身近な治療の選択肢として広める取り組みも行っています。

概要

- 2012年 横浜で初となる手術支援ロボットダビンチSiを導入
- 2016年 神奈川県初のダビンチXiにバージョンアップ
- 2018年 ロボット手術センター開設
- 2021年 ダビンチXi 2機目導入
- 2024年 ダビンチSP導入

体制

- ・ **12名のロボット手術認定医が在籍。**
そのうちプロクターと呼ばれる指導医が7名。
- ・ 執刀医を支える医療チームを拡充し、各診療科を横断して手術を一元化することで待機時間の短縮を実現。



ロボてくん

ロボット手術センター
公式キャラクター





3つのセンターとの連携で患者さんの予後のQOLも見据えた治療を実現

例えばがんと診断されたら「東部がんセンター」でその時点で考えられる最も効果のある治療法を診療科を限定することなく検討し、「患者支援センター」と連携しながら術前・術中・術後を手厚くサポートしています。

「東部がんセンター」
がんの治療法には、主に外科療法、放射線治療、薬物療法があります。消化器・呼吸器系疾患では内科系・外科系医師によるカンファレンスで患者さんの状態やステージに合わせて治療法を検討。

「患者支援センター」
医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士による手術準備外来では、安心して手術を受けられるよう患者さんの質問に随時お答えしています。

高度急性期病院として最先端の医療を充実させるため、これら3センターの連携により高度医療を推進していきます。



治療実績（2025年8月現在）

診療科	対象疾患	術式	機種	症例数	開始年
泌尿器科	前立腺がん	前立腺全摘	Xi	1111	2012
			SP	55	2024
	腎細胞がん	腎部分切除術	Xi	244	2014
			SP	8	2024
		腎摘除術	Xi	22	2022
			SP	3	2025
	膀胱がん	膀胱全摘	Xi	102	2017
	腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂形成術	Xi	41	2018
			SP	5	2025
	腎盂・尿管がん	腎尿管全摘術	Xi	9	2023
			SP	3	2025
	副腎腫瘍	副腎摘出術	Xi	17	2022
			SP	5	2024
		副腎摘出術（褐色細胞腫）	Xi	2	2024
外科	胃がん	幽門側胃切除 胃全摘	Xi	172	2013
			SP	1	2025
	大腸がん（直腸）	直腸切除・切断術	Xi	104	2020
			SP	9	2024
	大腸がん（結腸）	結腸切除術	Xi	36	2023
			SP	14	2025
	食道がん	食道切除術	Xi	12	2025
	膵体尾部腫瘍	膵体尾部腫瘍切除術	Xi	38	2022
	膵頭部腫瘍	膵頭十二指腸切除術	Xi	26	2022
	肝臓がん	肝切除術	Xi	49	2023
			SP	5	2025
	膵・胆管合流異常症	総胆管拡張症手術	Xi	1	2025
産婦人科	良性子宮疾患	子宮全摘	Xi	221	2013
			SP	37	2024
	子宮体がん	準広汎子宮全摘 (骨盤リンパ節郭清術)	Xi	86	2013
			SP	18	2024
産婦人科 泌尿器科	骨盤臓器脱	仙骨腫固定術	Xi	52	2018
呼吸器外科	縦隔腫瘍	縦隔腫瘍手術	Xi	75	2020
			SP	5	2025
	肺がん	肺悪性腫瘍手術	Xi	279	2020
			SP	4	2025

個別説明・体験会のご案内

内容
ダビンチSP実機の見学、操作体験。
手術方式の紹介、質疑応答。
対象
メディア関係者の皆様
実施方法
個別に日時を調整し随時対応。
申込方法
当院広報推進室までメールまたはお電話でご連絡ください。



＜本件についてのお問い合わせ先＞
済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当：波多野・荒木・吉村
電話：045-576-3000〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6-1
Email：koho@tobu.saiseikai.or.jp